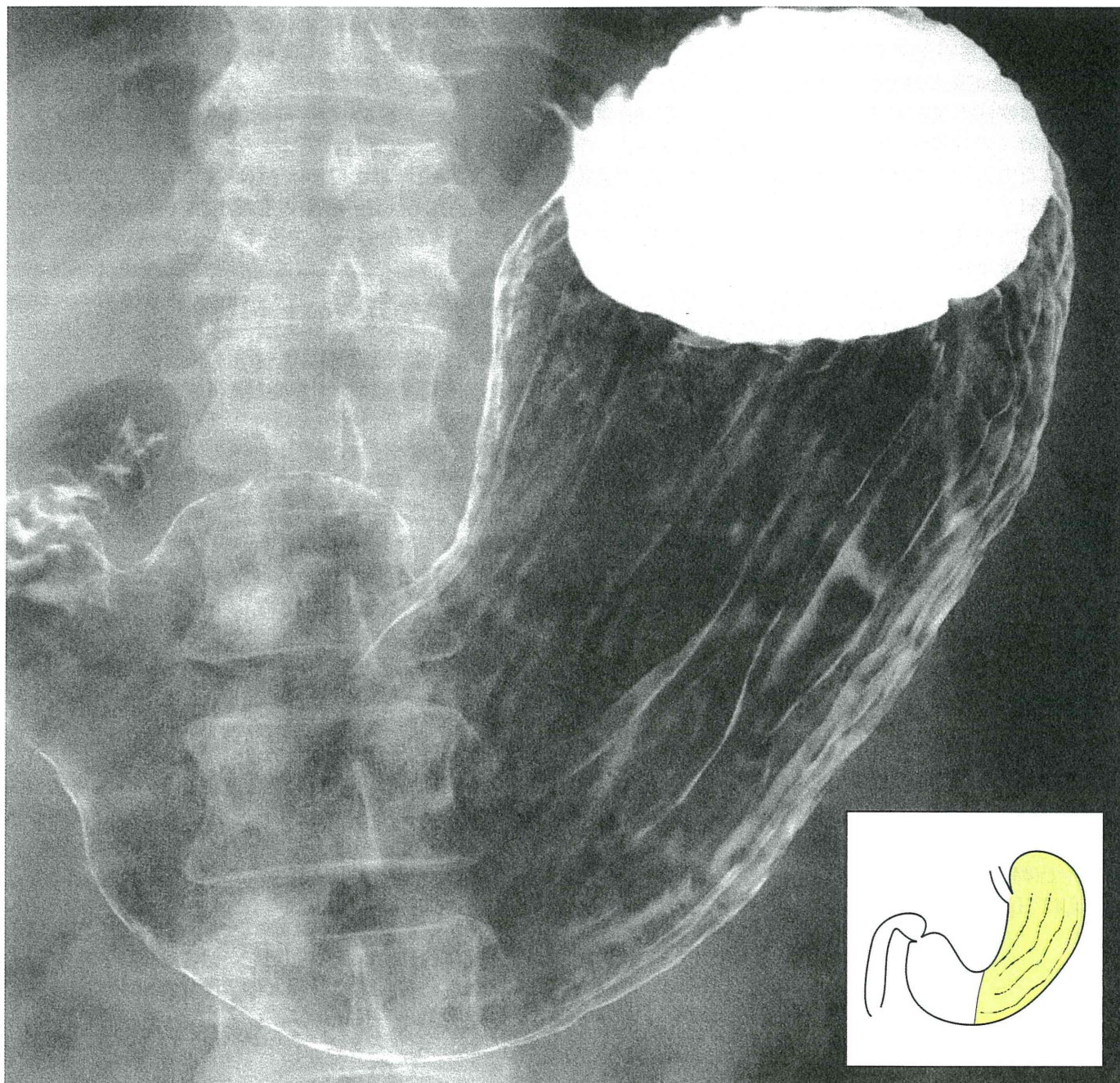




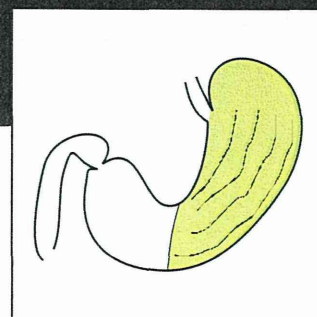
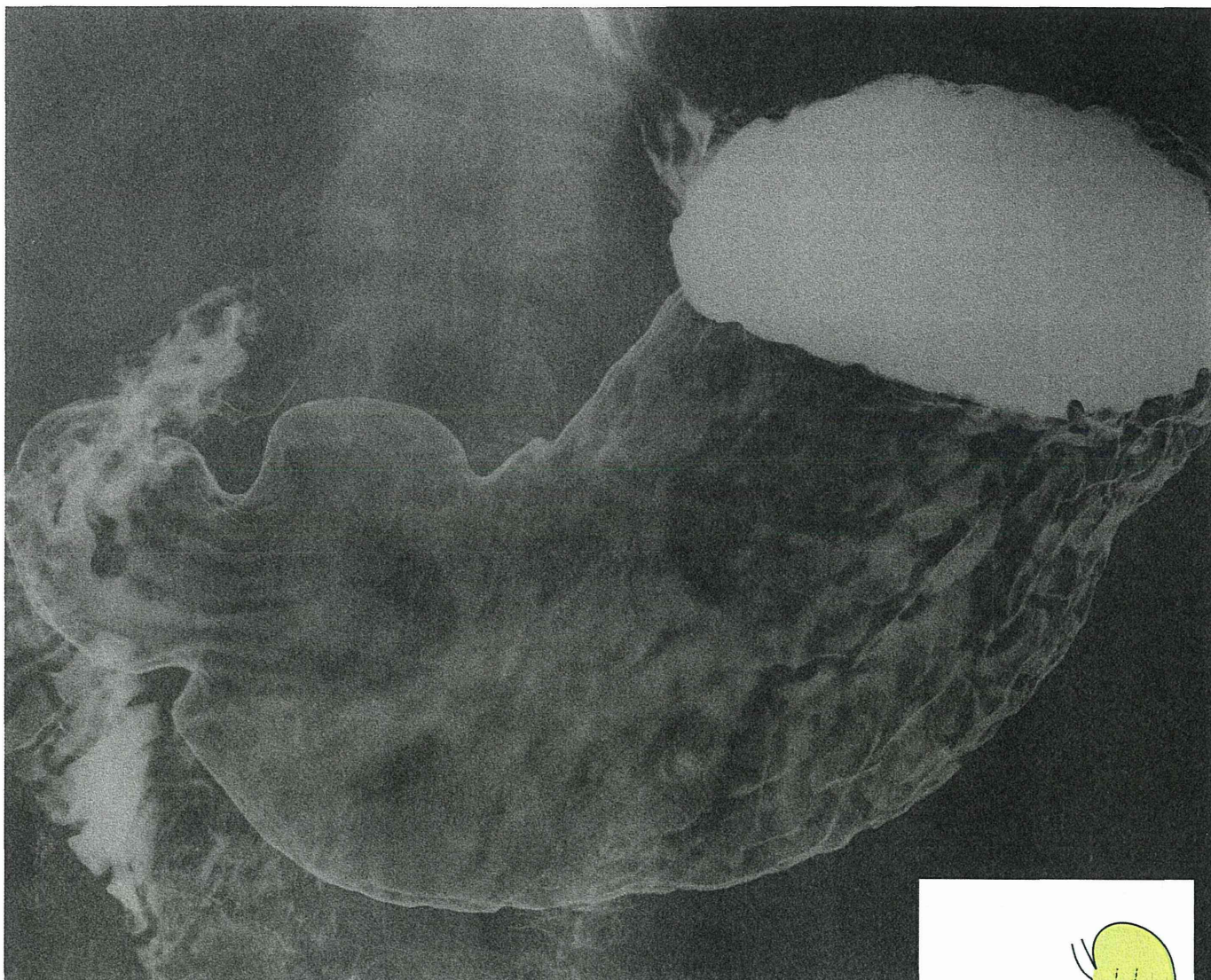
①Hp 未感染典型例その1

60歳代 男性 バリウム濃度180～195w/v% 発泡剤3.5g

胃粘膜表面はほとんど無構造でシルク様(ビロード様)であり、粘膜表面像は平滑型である。ひだの形はまっすぐ (Straight), 立ち上がりなだらか (Slow), 低い (Small), 表面平滑 (Smooth), 細い (Slim, <4mm) の5Sを有しており、正常型である。ひだは広く分布し、ひだ萎縮はない。以上より、Hp 陰性かつ萎縮のない典型的 Hp 未感染胃である。

胃の輪郭の描出が良好であり、バリウムが胃全体に薄く付着していると考えられる。胃小区は微細なために描出されない。典型的 Hp 未感染胃のバリウム付着度がこの程度になるようにバリウムを調整する方がよい。

ひだ萎縮(分布)	ひだ形状	ひだ幅(太さ)	胃粘膜像	Hp感染	PG検査	ABC分類
萎縮なし・4区域	正常型	細い	平滑型	陰性	陰性	A



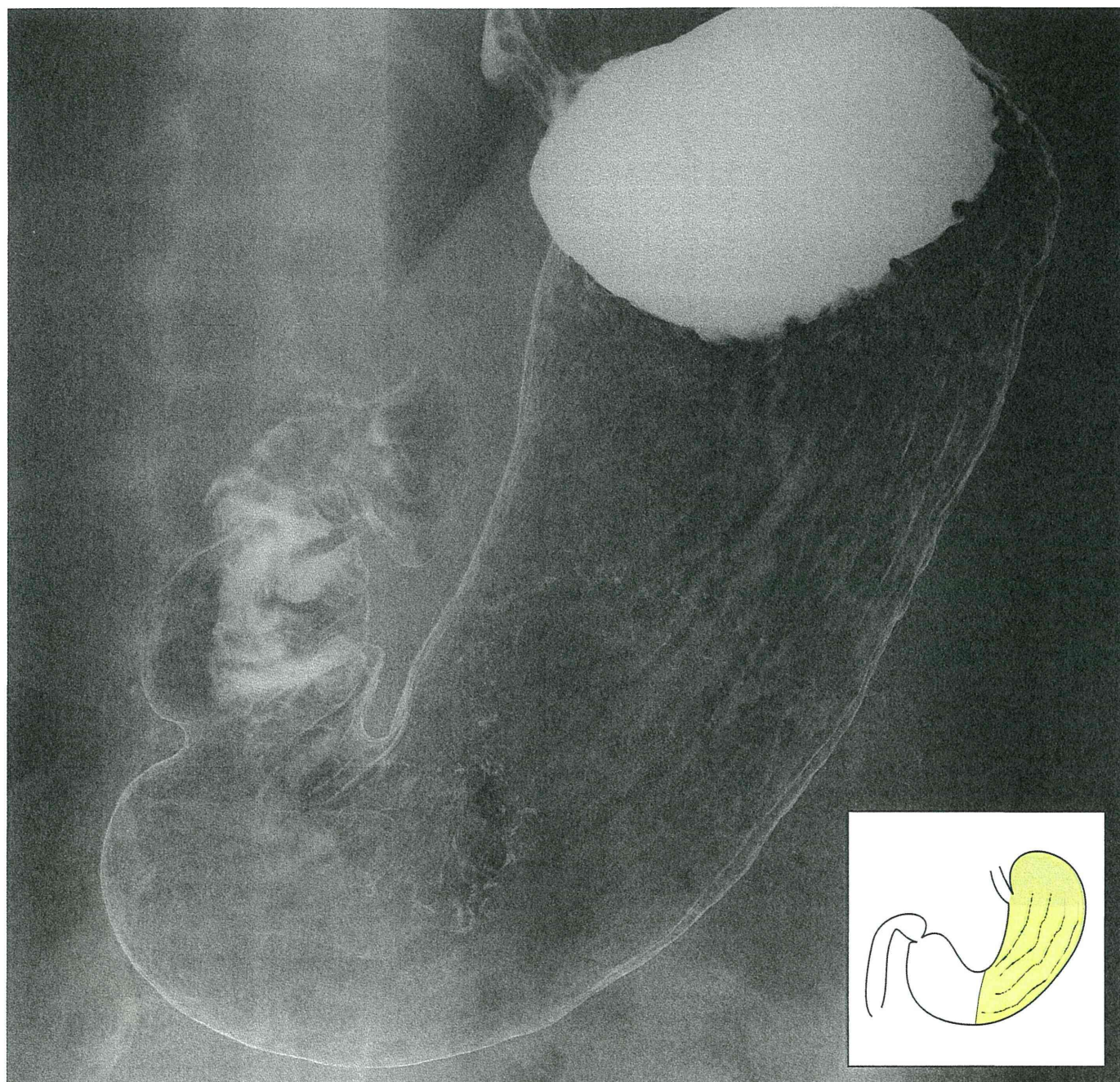
②Hp 未感染典型例その2：皺襞の多いタイプ

40歳代 男性 バリウム濃度210w/v% 発泡剤5g

皺襞は細く、胃体部で広く分布しており、正常型である。造影剤の付着は良好で平滑な粘膜面が明瞭に描出されており、平滑型である。

本例のように皺襞が多く目立つタイプは稀に皺襞腫大・蛇行と判断され、Hp 陽性と間違われることがあるが、皺襞の一本一本に着目すれば腫大はなく、滑らかに蛇行している点で鑑別は容易である。診断の決め手は造影剤の良好な付着性と粘膜面の滑らかさである。

ひだ萎縮(分布)	ひだ形状	ひだ幅(太さ)	胃粘膜像	Hp感染	PG検査	ABC分類
萎縮なし・4区域	正常型	細い	平滑型	陰性	陰性	A



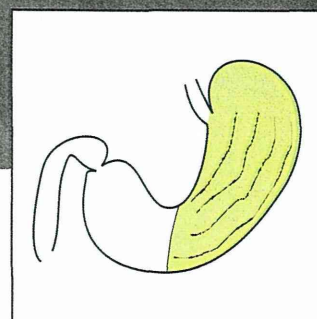
③Hp 未感染の典型例その3：皺襞が目立たないタイプ

40歳代 女性 バリウム濃度210w/v% 発泡剤5g

これまでの2例と比較して皺襞分布が一見減少しているように見えるタイプである。丈が高くない皺襞は発泡剤の量によって壁の過伸展により不明瞭化するため、留意が必要である。痕跡状の皺襞も丹念にみれば辺縁に軽微な不整をみるものと平滑なものに分かれる。

本例では皺襞の丈が低く、ややわかりづらくなっているが、同定は可能である。皺襞分布は広く、正常型であり、胃小区の粗糙化はみられず粘膜像は平滑型である。造影剤の良好な付着により描出される粘膜面の滑らかさが診断の決め手である。

ひだ萎縮(分布)	ひだ形状	ひだ幅(太さ)	胃粘膜像	Hp感染	PG検査	ABC分類
萎縮なし～軽度・3～4区域	正常型	細い	平滑型	陰性	陰性	A



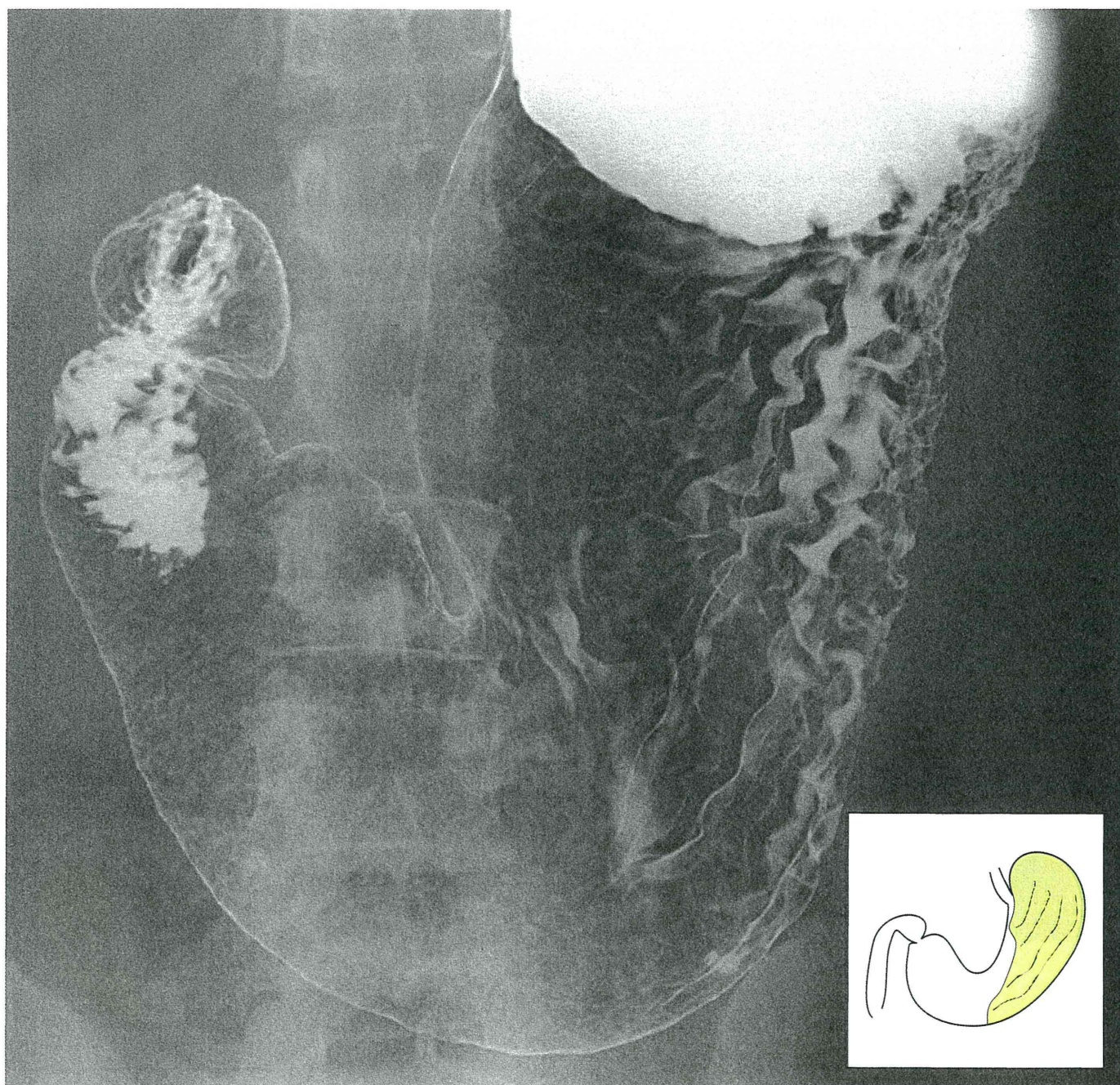
④Hp 感染の典型例その1：ひだの発達したタイプ

40歳代 男性 バリウム濃度180～195w/v% 発泡剤3.5g

胃粘膜表面は不ぞろいの敷石様であり，粘膜表面像は粗糙型である。ひだの走行は蛇行し，立ち上がりが急峻で，丈が高く，辺縁が滑らかでない，太い（5～7mm）の非5Sである。異常型のひだと判定した。ひだの分布は萎縮なし，4分割法で4区域にひだ描出がある。以上より，Hp陽性かつ萎縮のない典型的Hp感染胃と診断した。

血清Hp抗体：陽性，PG法：陰性であり，ABC検診のB群である。血清学的にもHp感染・萎縮なしとして矛盾しない。

ひだ萎縮(分布)	ひだ形状	ひだ幅(太さ)	胃粘膜像	Hp感染	PG検査	ABC分類
萎縮なし・4区域	異常型	太い	粗糙型	陽性	陰性	B



⑤Hp 感染の典型例その2：ひだの発達したタイプ(除菌施行例, 除菌前)

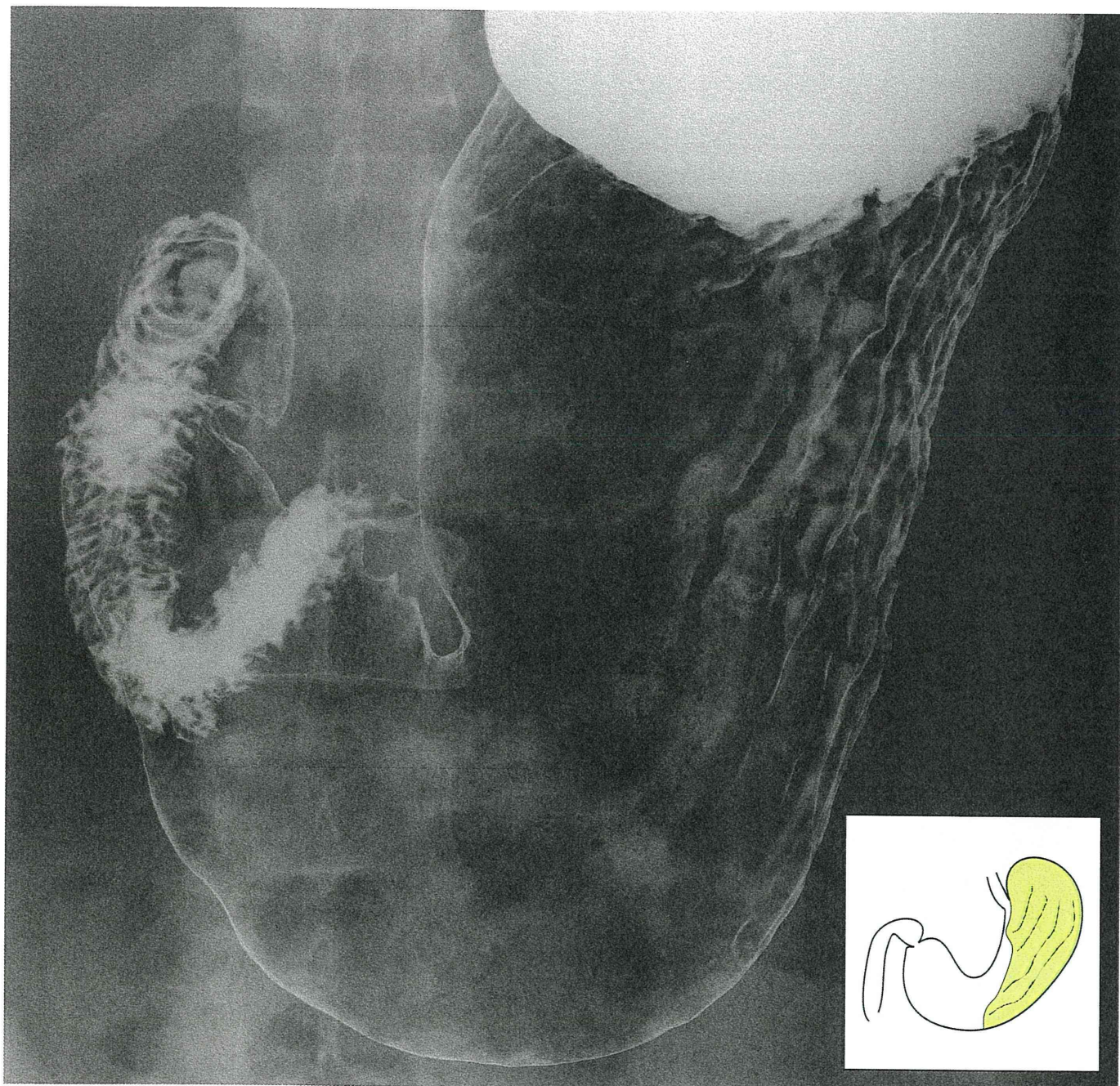
30歳代 女性 バリウム濃度240w/v% 発泡剤5g

皺襞分布は比較的保たれており，体下部小弯には分布しておらず軽度萎縮，胃体部4分割法で3区域である。皺襞の蛇行は所々鋭角を示しており，幅はHp陰性例のものに比し太い。胃小区の粗糙化を認め，胃小区は前庭部でやや小さく，胃体部でやや大きい。皺襞の肥厚・蛇行と胃小区粗糙化より Hp 感染胃炎と診断でき，皺襞分布が比較的保たれる点で萎縮が乏しいと診断する。

ABC 胃癌リスク分類では，Hp 抗体陽性・PG 法陰性で，B 群であった。胃 X 線診断と矛盾しない。

ABC 分類の B 群には若年者が多く，胃癌発見頻度は C 群より低い，胃癌例の中では進行の速い未分化型が多いため，大きな見落としをしないためには特に皺襞の走行に注意して読影することが重要である。

ひだ萎縮(分布)	ひだ形状	ひだ幅(太さ)	胃粘膜像	Hp 感染	PG 検査	ABC 分類
軽度萎縮・3区域	異常型	太い	粗糙型	陽性	陰性	B



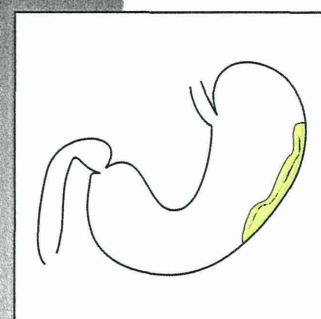
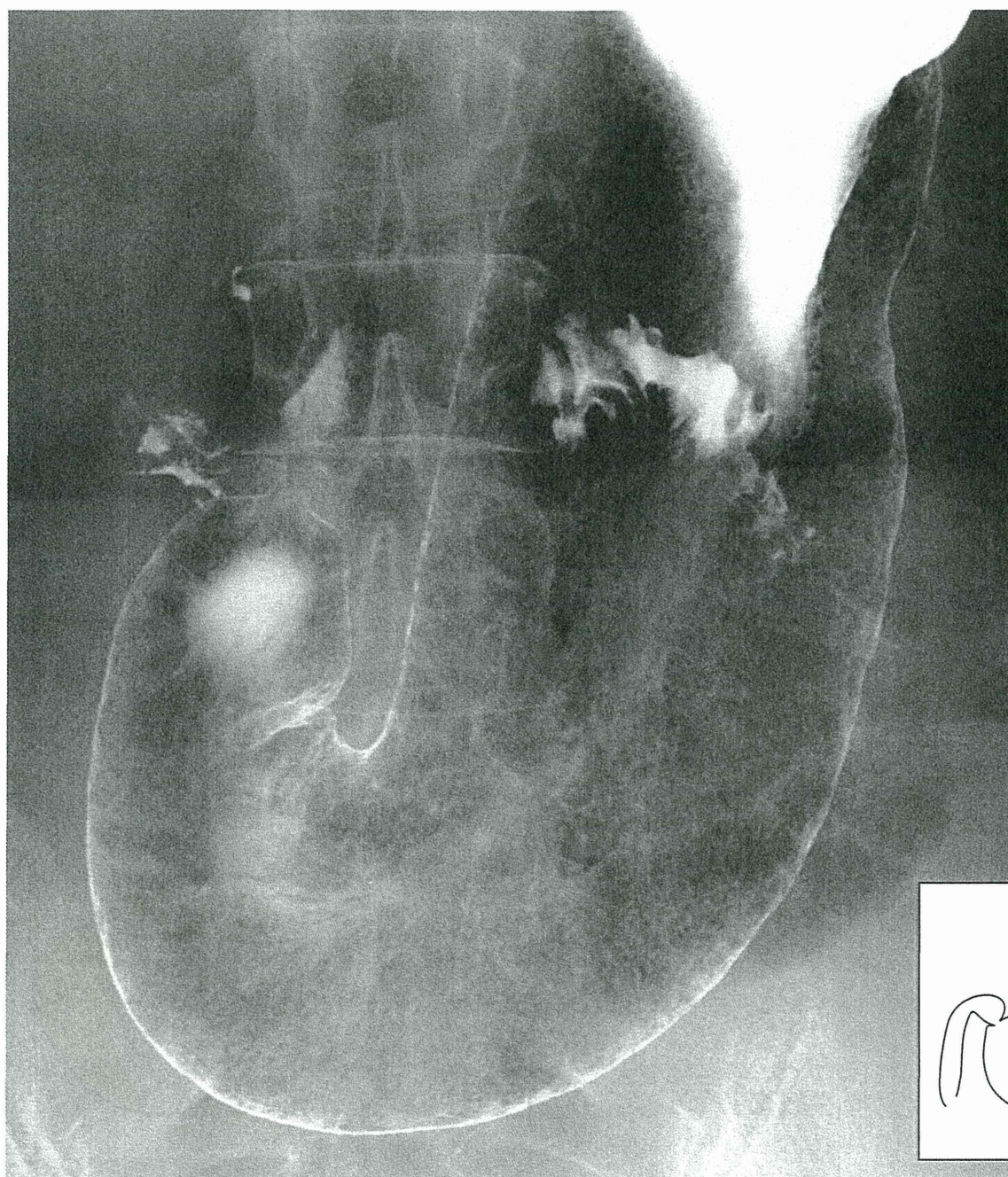
⑥前頁と同一例の除菌後(2年後)

40歳代 女性 バリウム濃度210w/v% 発泡剤5g

前頁と同一例に対する Hp 除菌療法後の X 線像。皺襞の鋭角的な蛇行は改善し，皺襞幅もやや縮小している。粗糙な胃小区は，不明瞭化している。除菌による炎症の改善を反映した所見と考えられる。

ひだの発達した Hp 感染者では除菌後も皺襞分布が保たれている場合が多く，皺襞・粘膜像の改善により A 群（Hp 未感染胃）との鑑別が難しい場合がある。このため，問診が重要である。

ひだ萎縮(分布)	ひだ形状	ひだ幅(太さ)	胃粘膜像	Hp感染	PG検査	ABC分類
軽度萎縮・3区域	平滑～中間型	細い	中間型	陰性	陰性	E(除菌後)

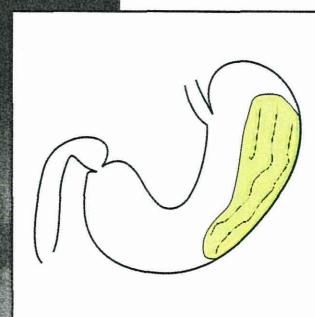
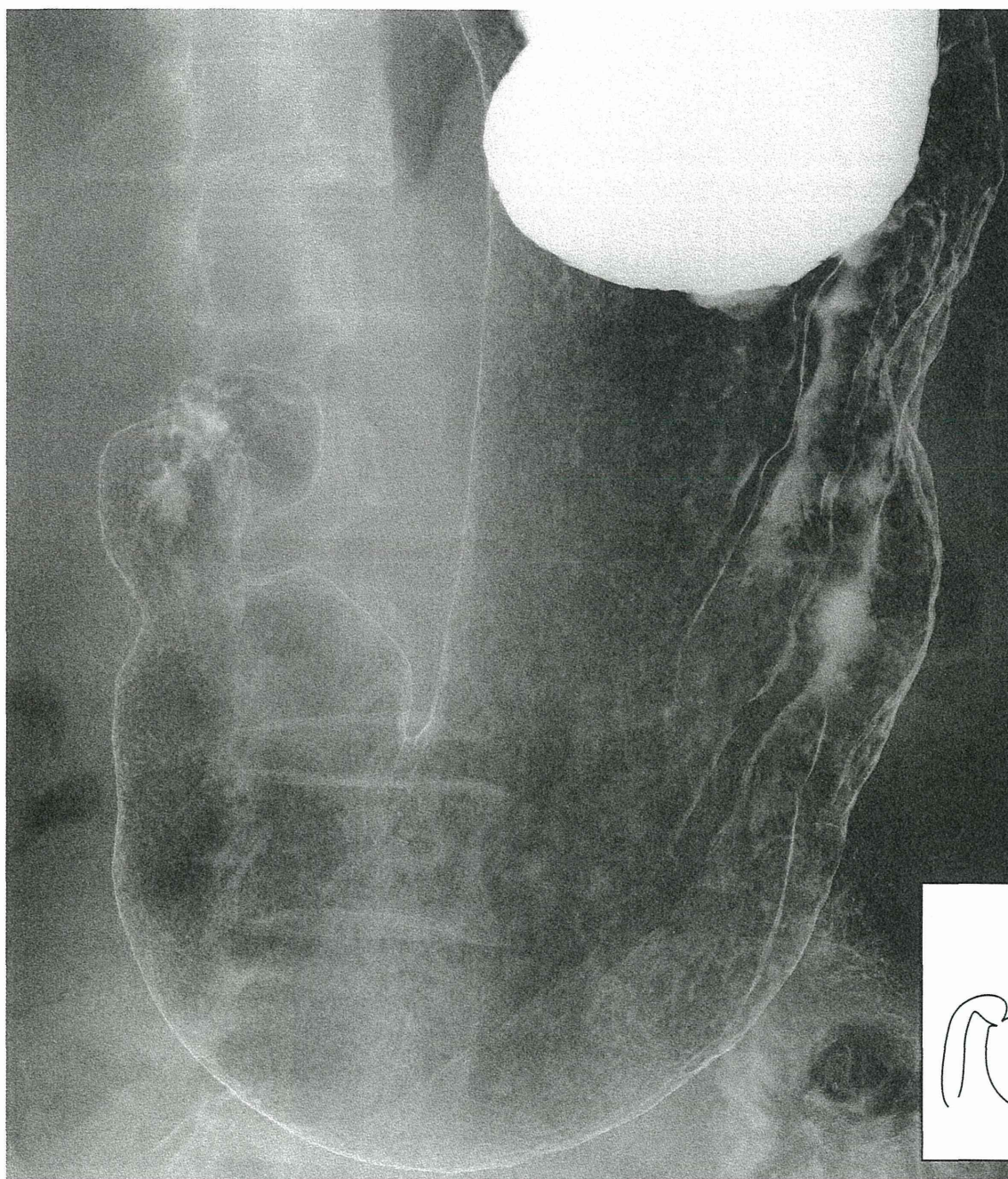


⑦Hp 感染高度萎縮症例 その1

60歳代 女性 バリウム濃度180～195w/v% 発泡剤3.5g

胃粘膜表面には，全体に微小な透亮像と微小なバリウム斑がびまん性にみられる。微小な透亮像はわずかに隆起した小さな胃小区を表していると考えられる。微小なバリウム斑は，後壁の微小隆起の中央や周辺の微小陥凹が描出されている可能性もあるが，前壁の粘膜に付着したバリウムが小斑状に写っている可能性もある。このような胃粘膜を，Hp 陰性のシルク（ビロード）様に対し，フリース（羊毛）様と称している。典型的な Hp 感染胃粘膜表面像の1つである。ひだの形は消失型である。ひだの分布は高度萎縮，4分割法で0区域と判定できる。以上より，胃 X 線写真では，Hp 陽性・高度萎縮と診断した。

ひだ萎縮(分布)	ひだ形状	ひだ幅(太さ)	胃粘膜像	Hp感染	PG検査	ABC分類
高度萎縮・0区域	消失型	評価不能	粗糙型	陽性	陽性	C



⑧Hp 感染高度萎縮症例 その2

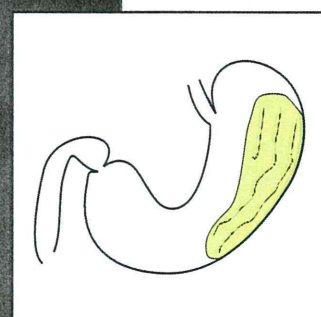
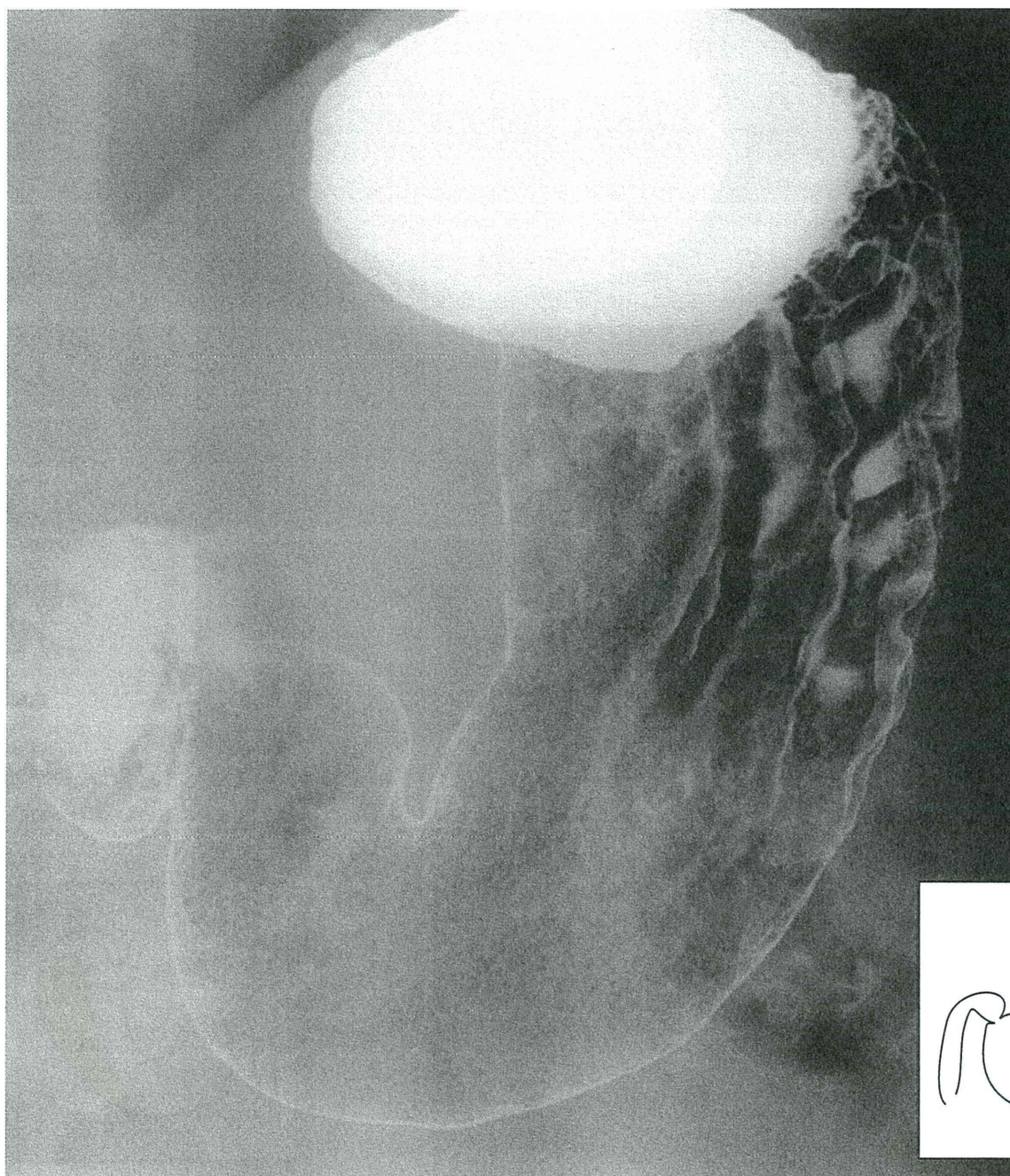
60歳代 女性 バリウム濃度210w/v% 発泡剤5g

Hp 未感染胃と比較して皺襞の数が少なく，分布範囲は狭く大弯側に偏在している。皺襞分布は中等度萎縮，体部4分割法では2区域であり，萎縮性変化が示唆される。また，皺襞幅は太く，横径の不同を示す。蛇行時の屈曲部は角張っている。粘膜面では胃小区の粗糙化を認める。皺襞分布の減少，皺襞の肥厚・蛇行と胃小区粗糙化より Hp 感染胃炎と診断でき，皺襞分布が少ない点で萎縮性変化が示唆される。

ABC 胃癌リスク分類では，Hp 抗体陽性・PG 法陽性で，C 群であった。胃 X 線診断と矛盾しない。

C 群は Hp 感染者の中で B 群よりも数が多く，特に 50 歳代以降では今日でも頻繁に遭遇する。胃癌発見頻度は B 群よりも高く，より慎重な読影が求められる。

ひだ萎縮(分布)	ひだ形状	ひだ幅(太さ)	胃粘膜像	Hp感染	PG検査	ABC分類
中等度萎縮・2区域	異常型	太い	粗糙型	陽性	陽性	C



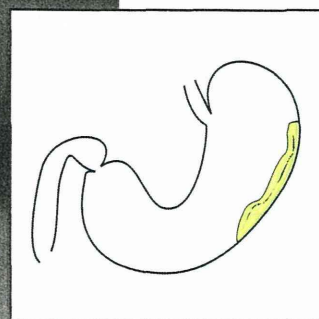
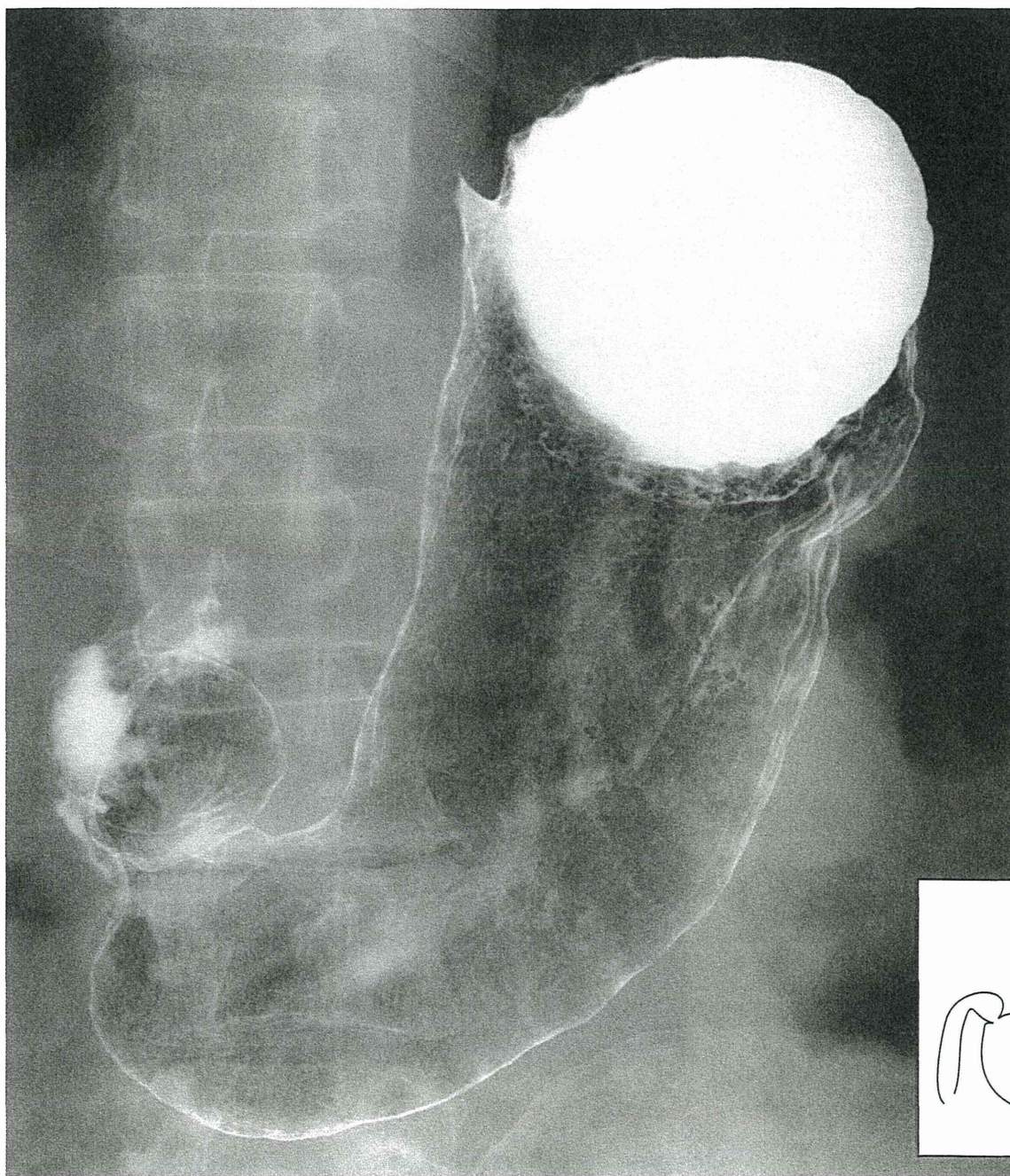
⑨典型的ピロリ菌感染症例 除菌前

60歳代 男性 バリウム濃度180～195w/v% 発泡剤3.5g

胃粘膜表面は、前庭部に顆粒状の小隆起が認められ、体下部から胃角部に微小な透亮像（微小な隆起）と小バリウム斑がびまん性に見られている。体部と胃角部はフリース様胃粘膜である。粗大な胃小区は描出されていない。前庭部の顆粒状変化は鳥肌胃炎の隆起の可能性がある。胃粘膜表面像は粗糙型である。ひだの形は、蛇行あり、太い（5～6mm）、立ち上がりが急、表面不整、丈が高いの非5Sを満たし、他の写真とも総合するとひだはやわらかくなく、全部で非6Sの所見を有し、異常型と判定できた。ひだの分布は中等度から高度萎縮、4分割法で1～2区域である。以上より、Hp陽性・萎縮ありとX線診断した。

血清 Hp 抗体陽性、PG 法陽性であり、ABC 検診ではC群で、Hp 感染・萎縮ありとして矛盾しない。

ひだ萎縮(分布)	ひだ形状	ひだ幅(太さ)	胃粘膜像	Hp 感染	PG 検査	ABC 分類
中等度萎縮・2区域	異常型	太い	粗糙型	陽性	陽性	C



⑩典型的除菌後胃 前頁の除菌後1年

60歳代 男性 バリウム濃度180～195w/v% 発泡剤3.5g

胃前庭部の顆粒状変化は消失し，胃全体に丈の低い微小隆起と淡い微小なバリウム斑をびまん性に認める。フリース様ではあるが，平滑に近く，中間型の胃粘膜表面像である。ひだはほとんど消失し，痕跡を残すのみで，消失型である。ひだの分布は高度萎縮で，4分割法では0～1区域である。

除菌前の画像と比較すると，胃粘膜表面像が粗糙型から平滑型に近くなっており，このような胃粘膜は中間型と判定する。ひだは除菌により異常型から中間・消失型へ変化している。ひだの分布は2区域から1区域へ変化しており，一見萎縮が進行したように見える。Hp除菌後胃粘膜の典型例の1つである。

ひだ萎縮(分布)	ひだ形状	ひだ幅(太さ)	胃粘膜像	Hp感染	PG検査	ABC分類
高度萎縮・0～1区域	中間～消失型	細い	中間型	陰性	未検	E(除菌後)